

JACK STRAW

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- UK's Justice Secretary (Justice Minister) 2007-10 and Foreign Secretary (Foreign Minister) 2001-06



Topics

- Europe
- Global
- Globalisation
- Middle East
- Politics
- Security
- Technology
- US

ジャック・ストローは、2001 - 06年度外務長官、1997 - 2001年度内務長官、トニー・ブレア首相の下院議長（2006 - 07年）、そしてゴードン・ブラウン首相の首相兼法務長官である。彼はイギリスの有名な日刊紙The Guardianによって、イギリスの政治の「大獣」と言われてきました。彼は国会議員として継続し、1979年に最初に選出された、最近ブラックバーンの最長奉仕MPとなっています。

彼の政治的経歴の初期には、バーに呼ばれ、それから内閣大臣バーバラ城とピーターショアの特別顧問として働いた後、労働党が勝利した後、内務長官に任命される前に、ジャック1997年の選挙。内務長官としての彼の時間は、ステイブ・ンローレンスの調査やピノチェット事件などの論争のそのシェアを持っていました。彼の任期の下で情報の自由法や人権法の下でイギリスの法律に欧州人権条約を盛り込むことを含む法律の重要な部分も導入されました。

2001年に外務大臣に任命された、ジャックはニューヨークで9月11日のテロ攻撃とアフガニスタンとイラクでの結果としての介入から生じる劇的な外交政策問題で主導的な役割を果たしました。彼は厳しくこれらの決定を擁護しました、しかし、2010年にロンドンでのイラク調査に、2003年の戦争に行くという決定は「彼を悩ませた」と言いました。ジャックは2002年にカシミールをめぐる非常に危険な武力紛争を回避するのを手助けするのに尽力し、インドとパキスタンの両方で知識豊富な講演者です。

2005年のEU予算協定交渉やそれに関連したすべての戦略的なEU経済問題など、多くのヨーロッパのトップ決定に、彼は外務長官として密接に関わっていました。同年、彼はトルコとの正式なEU加盟交渉の開始に成功した努力を主導しました。

ジャックは長い間、外交大臣としてテヘランを訪問している - イランへの密接で際立った興味を持っていました。フランスとドイツの外相Dominique de VillepinとJoschka Fischerと共に、ジャックはイランの核関係書類の平和的解決のための2003年の「E3+イニシアチブを主導しました。彼はイランの新大統領であるハッサン・ルーハニ博士と良好な関係を築き、2013年8月4日に就任式に招待されました。

内務長官として、彼の大部署は「私のキャリアを台無しにする可能性のあるプロジェクトに熱心に取り組んでいる公務員でいっぱいだった」と冗談を言った。」2012年に彼のベストセラーの自叙伝Last Man Standing政治的生存者の回想録が出版されThe Timesのベストセラーの政治的日記家Chris Mullinによって「魅力的でユーモラスで、時折自己批判的で率直な」と表現されましたBBCペルシア語のサービスによるペルシア語の簡潔な翻訳は、10万以上のユニークなヒットを集めています彼は、ブリティッシュ・イラン議会グループの共同議長です。

Jackは、世界の商品ブローカーであるED&F Manユニバーシティカレッジロンドン公共政策大学院の客員教授、およびブラックバーンローバーズフットボールクラブの名誉副会長のコンサルタントです。彼はイギリスとトルコの間で毎年行われるTatlidil会議の共同議長です。2012年に彼は大統領AbdullahGülによりト

ルコ共和国勲章を授与されました。彼は内寺の牧師です。2012年に彼はケンブリッジ大学出版局によって2013年に出版された「法改正の側面」に関する有名なハムリン講義を届けました。

無数の重要な政策分野でのジャックの経験は、政府とEUと中東、南アジア、国際関係、国際法、安全保障および世界的な制度の改革の役割と働きについて国際的な聴衆に話すことを可能にします。13年間の大臣として、ジャックは内部管理と外向きの政策立案の両方を担当する3つの大きな政府部門を管理してきました。したがって、彼はまた、企業や政府のイベントで話題のスピーカーです。